

第4回川口市行政評価外部評価委員会			
日 時	令和4年10月7日(金)13:30~14:50	場所	第一本庁舎 6階 601 大会議室
評価委員	石川委員長、佐藤副委員長、高田委員、高德委員、田中委員、 富田委員、城守委員、稲垣委員	傍聴者数	1名
事務局	稲垣次長、竹田課長補佐、山縣主査、佐藤主任、光谷主事		

議事(1) 各部会の評価結果について
<p>○事務局より評価対象事業の事業概要について説明</p> <p>○各事業の評価結果について各部会長より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一部会長 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 自転車駐車場施設管理費 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「趣旨・目的及び達成手段」については、自転車対策の必要性があるため、駐車場ごとに見直しを行う必要はあるが「概ね適正」とした。</li> <li>◇ 「事業の効果」、「事業の効率化」については、駐車場ごとの委託料が利用率や規模によって適正かどうかの分析等をする必要があることから、「改善の必要あり」とした。</li> <li>◇ 「課題解決への取り組み」については、課題解決へ向け、明確な計画を立てたうえで、安全性や利便性を向上させる必要があることから、「改善の必要あり」とした。</li> <li>◇ 「今後の事業の方向性」については、指定管理者制度の導入など民間事業者の活用を今後図っていくことは事業の効率化を図るうえでは有効と考えられるため、「概ね適正」とした。</li> </ul> </li> <li>➤ 幼稚園費 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「趣旨・目的及び達成手段」、「事業の効果」については、従来、費用の面で市立幼稚園は、優位性があったが、無償化に伴いその優位性がなくなったと考えられることから「改善の必要あり」とした。</li> <li>◇ 「事業の効率化」については、南平幼稚園の立地環境が非常に悪く、また両園が近くに位置しているということを踏まえ、市立幼稚園を存続するのであれば、舟戸幼稚園を残し、南平幼稚園を吸収することについても検討する必要もあることから「改善の必要あり」とした。</li> <li>◇ 「課題解決への取り組み」については、保護者からの保育ニーズに対する危機感が欠如しており、対応も極めて不十分のように思えることから、「抜本的な見直し」が必要とした。</li> <li>◇ 「今後の事業の方向性」については、園児数が少ないということは、PR不足とも考えられるが、状況をみると保育ニーズに対する課題の認識が十分ではないことが最大の要因となっており、今後については、厳しい見直しの決断が必要であると考えられることから「改善の必要あり」とした。</li> <li>◇ 部会全体としては、南平幼稚園は立地環境も悪く、園児数の減少も明らかであるため、一園の廃園も含めて、抜本的な見直しをするべきではないかという結論となった。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

● 第二部会長

➤ ふるさと寄附金事業

- ◇ 「趣旨・目的及び達成手段」については、市全体として取り組む必要はあるが、税制課としての仕事ぶりはよくやっているという評価であったため、「概ね適正」とした。
- ◇ 「事業の効果」については、税控除の質問等について税制課としてはしっかり対応しているため「概ね適正」という評価としたが、この制度は返礼品が大きなインパクトとなるため、さらなる工夫も必要である。
- ◇ 「事業の効率化」については、市全体の事業として捉えた時に、さまざまな手段が考えられることから、「改善の必要あり」とした。
- ◇ 「課題解決への取り組み」については、広報・周知の問題は税制課だけで取り組むには限界があることから、「改善の必要あり」とした。
- ◇ 「今後の事業の方向性」については、組織の問題も含め、「改善の必要あり」とした。
- ◇ 返礼品については、多くのアイディアを部会として提供したので、ぜひ参考してほしい。

➤ 企業立地推進事業

- ◇ 「趣旨・目的及び達成手段」については、「改善の必要あり」という評価である。土地バンク事業は今すぐ見直しが必要ということではないが、やはり成果が上がらないのであれば廃止も検討するべきである。
- ◇ 「事業の効果」については、成果として効果的には上がっていないことから、「改善の必要あり」とした。
- ◇ 「事業の効率化」についても、民間に任せるべきとの意見が多かったことから、「改善の必要あり」とした。
- ◇ 「課題解決への取り組み」については、アンケートを実施し、まずは何が課題であるかを把握する必要がある。市民や対象となる団体とのコミュニケーションが欠けたまま事業が継続してしまっていることから、「抜本的な見直し」とした。
- ◇ 「今後の事業の方向性」については、アンケートを行うなど効果の分析検証をしたうえで、事業の見直しを図っていく必要があることから、「抜本的な見直し」とした。

<ご意見>

土地バンク事業について、部会の中では廃止という方向性になったが、担当課が工夫して事業を継続するとのことだったので、期限を区切り、実施したことで成果を報告してほしい。

## 議事（２）意見交換

○各委員より、今年度の外部評価の感想及び改善点を発表

➤ A委員

今年度は3年目だったため、比較的余裕があり、とてもやりやすかったが、実施計画事業評価調書が、専門的で金額も高額だったためイメージしづらく、改善策を提案することが難しかった。各事業において課題が多く、とても勉強になったが、全体としては楽しく参加することが出来た。

➤ B委員

3年目ということで、私もある程度この会議のやり方について、慣れてきた部分があった。今回担当した事業が自転車駐車場と幼稚園ということで、馴染みはあるが、細かい内容までは当然わからないことだったので、今回色々と勉強させていただいた。特に自転車駐輪場は、利用率が低いところでも、担当課は問題意識を持たずに事業を継続していたように感じられる。南平幼稚園については、利用者のニーズを事業に反映させていないということが少し残念に感じた。

➤ C委員

私も3年目でだいぶ慣れてきた。事務局で作成した事業内容説明シートは非常にわかりやすかった反面、実施計画事業評価調書は数字が細かく、これを見て評価するというのは非常に難しかった。今後も現状の開催回数で行政評価をするのであれば、わかりやすい資料作成をこれまで以上に心掛けてほしい。

➤ D委員

自転車駐車場については、他の自治体では自転車整備センターの利用や、無人の駐輪場、レンタサイクルなどを活用している例も見られることから、積極的に取り入れてもらいたいと感じた。

幼稚園については、無償化されたことで私立と市立の違いがほとんどない現状であることから、積極的に保護者のニーズを取り入れてほしいと感じた。現状では保護者のニーズを1年に一つ取り入れているようであるが、費用が膨らんだとしても一気に取り入れてもらいたいと思う。結論としては、2園は必要ないと感じた。

➤ E委員

年々、資料が見やすくわかりやすくなってきているため、今後とも継続してもらいたい。事前説明や分かりやすい資料の作成で3年目は非常にやりやすかった。私は毎回、担当課の人にアンケートを取って市民の意見を聞いているのか、その結果を分析しているのか、事業にフィードバックしているのかを確認しているが、この外部評価委員会自体もそのようなことを行ってほしい。委員が様々な意見を提案した結果、各課はどう考え、行動したのかという報告は聞いていない。今まで評価してきた事業について、この委員会での結論、指摘事項など、その後の取り組み状況などを5段階評価して、来年3月の会議で報告してもらいたいのでぜひ検討してもらいたい。

➤ F委員

事業の内容によって、どうしてもそのまま継続しているのかと不思議に感じる事業もあり、やはり外部からの意見を聞くというのは非常に大切なことだと感じた。E委員の意見と同じだが、過去の事業の中で、「1 抜本的見直しが必要」と「2 改善の必要あり」という評価だったものについては、その後どんな取り組みをしたのか報告してもらいたい。

➤ 副委員長

事業内容説明シートはわかりやすかった。実施計画事業評価調書は各課同じレベルで作成している訳ではなく、1年目はよくわからなくて質問していたが、3年目は事業内容説明シートがあったため、事業を理解しやすくて確かな質問をすることが出来た。20年前は外部評価という概念はあったが、実施している自治体は少なく2000年代後半から取り入れられてきた。私自身ずっと同じ職場にいるので、実施する必要のない事業があれば、すぐに廃止することが出来るが、市役所の場合は、2～3年で課長が変わるから、自分がいる時にはやめられないという考えは理解できるが、それでは何も進まないのではと改めて感じた。

➤ 委員長

内部から変えていく姿勢が大切である。私が自治体勤務の現職の時には、人件費を削減するために、知恵を絞って様々なことを行い、削減することが出来た。

今回担当した自転車駐車場については、市の予算はかけずに駐車場を整備し、放置自転車もなくした他の自治体の事例もあることから、川口市においても知恵を絞って検討してほしい。

少し残念に感じたことは、事業担当課が「理路整然と、完璧に答えなければいけない」という雰囲気での会議に出席している様子が垣間見え、無難で消極的な説明・回答になりがちだったことである。担当課自身が、この会議での議論を通じて、変革への道筋を作るつもりで臨んでほしいと感じた。

○その他、部会からの要望

この3年間で評価した事業について、評価の後どの様な取り組みをしたかの報告をしてもらいたい。